

令和7年度 鹿沼市入札適正化委員会 会議録（概要）

- 1 目 的 本市が発注する建設工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を高めるとともに、入札に参加しようとし、又は契約の相手方になろうとする者の間の公正な競争を確保するため、入札及び契約手続の運用状況等について審議を行う。
- 2 開 催 日 令和7年10月9日（木） 午後1時55分～3時35分
- 3 開催場所 鹿沼市役所 行政棟2階 第1委員会室
- 4 委 員 委員長 前 橋 明 朗
委 員 須 賀 正 人
委 員 高 田 悦 夫
- 5 審議対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日
- 6 対象案件 総数 172件
抽出案件 3件
（内訳）事後審査型条件付き一般競争入札 2件
随意契約 1件

議事等の概要

1 報告事項

(1)発注状況について

事務局より、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの審査対象期間内の発注状況について説明

(2)指名停止の運用状況について

事務局より、3件の指名停止の運用状況について説明

(3)談合情報対応状況について

事務局より、令和6年度に寄せられた談合情報はなかったことを報告。令和5年度に寄せられた談合情報については、公正取引委員会・鹿沼警察署・栃木県へ通報済みだが、その後の動きはなく、公正取引委員会の対応を待っている状況であることを説明。

また、昨年度の入札適正化委員会でご指摘のあった土木・建築・ほ装の市内Aランク対象工事の落札率について、事務局より、委員の意向を伝える通知や、入札に関する誓約書を提出してもらうなど、経過を説明。この間、落札率が若干下がり、直近の令和7年9月25日開札の案件では、土木のAランクにおいて最低制限価格での同額抽選となった。

事務局より、今後の入札状況を注視していきたい旨を説明。

委 員： 令和7年9月25日入札の参加業者は何者か？

事 務 局： 入札参加業者は16者。うち2者が最低制限価格での同額抽選となった。

委 員： 今後の入札において、土木・建築・ほ装の市内Aランク対象工事は予定しているか？

事 務 局： 何件か予定している。

委 員： これから実施する対象案件の入札結果を注視していくこと。

(4)抽出結果報告について

須賀委員より、抽出案件を選定した理由について報告。

一般競争入札については、土木Aランク対象工事のうち特に落札率が高かったもの、及び建築Bランク対象工事のうち落札率が高かったものを抽出。

随意契約については、落札率が高く、随意契約とした理由の詳細を確認したいものを抽出。

2 審議事項

(1) 令和6年度市道1032号線側溝整備工事

工事場所：千渡

担当部課：都市建設部 維持課

【審議結果】適当とは言いかねる

(2) 鹿沼市体育館建具外改修工事

工事場所：さつき町

担当部課：都市建設部 建築課

【審議結果】適当であると認める

(3) 鹿沼市運動公園陸上競技場トラック改修工事に伴う付帯工事

工事場所：旭が丘

担当部課：教育委員会事務局 スポーツ振興課

【審議結果】適当であると認める

3 抽出案件についての主な質疑・協議内容

【審議案件 ア 令和6年度市道1032号線側溝整備工事】

委員： 入札に参加した16者のうち、14者が辞退した。現地の確認もしたが、幅員が狭く工事中は通行止めになり、交通整理が必要になる。また、上下水道管が埋設されていることから、それらを避けて工事をしなければならないことなど困難な工事であったと思われる。辞退業者が多かった理由は？

事務局： 入札辞退届の辞退理由としては、「積算超過のため」、「水道工事と同時発注で工期や経費等に負担がかかるため」、「現場代理人や主任技術者の配置が困難なため」などであった。

工事担当： 現場の道路が狭く、延長が400メートルあるので、起点と終点で全て通行止めということはできないので、何箇所かに分けて通行止めをすることから、通行止めの回数も近隣への周知も含めて手間がかかる。また、上下水道管が埋設されているため、慎重に掘らなくてはいけない。水道管や下水道管を切断してしまうと大変なことになるため、作業効率の低下が予想されたので、敬遠されたと考える。

委員： 今回の側溝工事と接続する過去の側溝工事の状況についてはどうか？

工事担当： 隣接する前回の工事は、今回の工事に比べて幅員は広がった。前回工事で大変だった状況に加え、今回はさらに幅員が狭いことから敬遠されたと考えている。

委員： この案件は、落札率が 99.79%と高止まりしており、適当とは言いかねる。

【審議案件 イ 鹿沼市体育館建具外改修工事】

委員： 高圧キュービクルから受電できなくなった理由は？

工事担当： 同敷地内にあった旧北犬飼コミュニティセンターを解体したが、この建物に高圧キュービクルがあり、そこから受電していた。そのため、建物の解体と共にキュービクルも撤去され受電できなくなった。

委員： パッケージ消火設備に改修した理由は？

工事担当： 既存の屋内消火栓設備は停電時に使えないため、停電時でも放水できるようにパッケージ消火設備に改修した。

委員： 換気扇の新設は何カ所？旧換気扇はどうなったのか？

工事担当： 換気扇は2カ所新設をした。古い換気扇については、電源配線を取り外して、運転ができないようにした。旧換気扇本体はアリーナ上部に残置している。

委員： パッケージ消火設備のメーカーはいくつかあるのか？またメーカー指定しているのか？

工事担当： パッケージ消火設備の能力を求めるだけで、メーカーの指定はしていない。またメーカーは複数社ある。

委員： 高架水槽は耐震性能が不足しているとのことだが、撤去の予定はあるのか？

工事担当： 今回の工事の中で、撤去している。

委員： 今回の工事は、建築の市内Bランクを対象としているが、他の案件と比べて落札率が 98.50%と高かった。その理由は？

事務局： 本工事は、特殊な工事内容であり、建具の改修や電気工事・消防施設工事など下請けに出す内容が多く、建築業者としての利益が少ないことが、

理由であると推測される。

【審議案件 ウ 鹿沼市運動公園陸上競技場トラック改修工事に伴う付帯工事】

委員： 随意契約の理由は？

工事担当： 本工事は、鹿沼市運動公園陸上競技場トラック改修工事において、インフィールドやり投げ助走路及びスタンド前ウレタン舗装を行う工事である。本体工事と密接に関連する付帯的な工事であり、当該工事中の者に施工させた場合、工期の短縮に加え、工事の安全・円滑かつ適切な施工を確保するうえで有利と認められ、他の業者と競争入札する場合より安価に計上できる見込みであり、経費の節減においても有利であるため。

委員： 本体工事に係る変更契約２回目の際に、今回の付帯工事を含めることができなかった理由は？

工事担当： 本体工事が議決案件であるため、議案提出時までに工事内容及び数量の確定が見込めなかったため、付帯工事とした。